甲状腺エコー検査？放射能？ QアンドA

Q. 前に受けたから大丈夫？

震災当時0～18才の子どもを対象としている、福島県の甲状腺検査では、甲状腺がん（悪性疑い含む）の方が200名以上と、多く確認されています。若年性甲状腺がんは進行が速い傾向があり、１～２年を目安に定期的な検査をうけていただくよう願っています。

Q. どうして検査するの？

福島原発事故当初、事故原発から放流出した放射性物質が宮城県内にも飛来していました。とりわけ、放射性ヨウ素による甲状腺への晩発性影響を確認するためです。

Q. 先生は？

溝口 由美子（みぞぐち ゆみこ） **医師**

光ヶ丘スペルマン病院小児科・仙台市

Q. どんな検査？

首のところにある甲状腺を超音波（エコー）で調べる検査です。妊娠中、赤ちゃんの様子をエコーで見るのと同様です。痛みや害はなく、３ ～ ４ 分程度で終わります。検査結果についてはその場でわかり、お帰りの際、検査写真や報告書をお渡しします。

Q.「いずみ」について

「放射能問題支援対策室いずみ」は、複数の医師や各地の住民・市民と協力し、これまでのべ3000人以上の甲状腺検査を行っている民間支援団体です。

会場アクセス

仙台市 寺岡市民センター

仙台市泉区寺岡二丁目十四番地四 ☎〇二二-三七八-四四九〇

宮城交通バス 寺岡中学校前バス停下車すぐ

（泉中央駅から、泉パークタウン、又は、寺岡三丁目行きバス利用）